

2023（令和5）年度

京都大学教育学部  
学士入学  
試験問題

※選択されなかった外国語科目については掲載していません。

2 0 2 3 年 度

京 都 大 学 教 育 学 部  
学 士 入 学 試 験 問 題

外 国 語

英	語
---	---

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）  
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。  
提出する解答用紙は2枚である。  
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

英 語
-----

I. 次の文章の下線部を和訳しなさい。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Michael J. Sandel, *The Tyranny of Merit: What's Become of the Common Good?*, Penguin Books, 2021 の3頁1行目~4頁15行目を引用した。

なお、下線部は、4頁6行目の「Morally, the pandemic」から始まり4頁15行目「white Americans.」までの文を指す。

(次頁へ続く)

**【問題文】**

(問題文略—問題用紙1頁目の後掲〈注意〉を参照のこと)

II. 次の文章は、筆者の祖父の遺品に含まれていた曾祖父の3つ目の勲章をめぐって考えたことについて書かれたものである。この文章を読み、下線部(1)と(2)をすべて和訳しなさい。(1)については、和訳した上で、筆者の言う the conflicted emotions の内容はどのようなものかも説明しなさい。なお、各解答の最初に(1)、(2)の番号を記入すること。(50点:(1)20点、(2)30点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Roger Frie.(2017),*Not in My Family*,Oxford University Press.の140頁23行目~142頁14行目を引用した。

なお、下線部(1)は、141頁19行目の「My grandfather's」から「I felt.」までの文を、下線部(2)は、142頁5行目の「Without asking」から「private family memory.」まで3つの文を指す。

(次頁へ続く)

【問題文】

(問題文略—問題用紙3頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(次頁へ続く)

**【問題文】**

(問題文略—問題用紙3頁目の後掲<注意>を参照のこと)

2023年度

京都大学教育学部  
学士入学試験問題

一般教育科目

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 問題Ⅰは現代教育基礎学系、問題Ⅱは教育心理学系、問題Ⅲは関連教育システム論系からの出題である。計3問のうち、入学志願票に記入した第1志望系と第2志望系の問題、計2問を必ず選択すること。志望系の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)  
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。  
提出する解答用紙は2枚である。  
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。



## 一般教育科目

次のⅠ～Ⅲの3問のうち、入学志願票に記入した第一志望系と第二志望系の問題を、計2問選択して解答しなさい。

(100点 (50点×2問))

〈現代教育基礎学系〉

Ⅰ. 世界経済フォーラム (WEF) による各国の男女格差の現状を評価した「Global Gender Gap Report (世界男女格差報告書)」2022年版によると、日本のジェンダーギャップ指数は146カ国中116位であり、とくに、政治参画、ついで経済参画分野における格差が著しい(下記資料参照)。これらの分野の格差是正に向けて、教育・学校現場で今後さらに取り組むべき課題と展望を、具体例をあげながら論じなさい。

【資料】

(資料略—後掲〈注意〉を参照のこと)

〈注意〉

資料は、内閣府男女共同参画『共同参画』第158号 p.12 (2022年8月) を引用した。

〈教育心理学系〉

Ⅱ. 身体と感情の関係について、(A) 実験心理学と、(B) 臨床心理学でどのように扱われてきたか、具体的な研究や理論を挙げてそれぞれ論じなさい。

〈相関教育システム論系〉

Ⅲ. 教員は、「聖職者」として扱われることがある。そこに込められた期待と、そのことによる弊害の両面を説明した上で、自らの見解を論じなさい。